

科目		動物行動学Ⅱ		
担当講師 山中彩紗子 実務経験有 警察犬訓練士 ドッグトレーニングセンター代表				
開講年次	授業形態	選択/必修	授業時間	
動物管理学科 2年次前期後期	講義	必修	30	
授業目標 犬、猫の習性を理解し、しつけ・訓練を学ぶ。 実際の症例をもとに犬のトレーニングの仕方、アドバイスの仕方等を学ぶ。生物学上の観点から犬と猫の発 生起源と歴史を理解し、基本的行動の意義または機序を学ぶ。行動の発達ステージと発達過程、生得的行動、 習得的行動、個体と社会的行動、コミュニケーション行動とボディランゲージ、性行動を理解できる。しつけ トレーニングでは基本的なしつけを理解し、適正飼育と人と動物の共生に寄与することを学ぶ。また犬猫の間 題行動についても理解する。				
授業概要 犬猫の家畜化の歴史と種類、コミュニケーションとしつけトレーニング、問題行動への対応法などを学ぶ。				
成績評価の方法 評価の基準は実習レポート、実技試験、筆記試験による。また本科目受験には出席率が3分の2以上であるこ とが必要。試験は80～100点がA評価、70～79がB評価、60～69までをC評価とし、60点未満は再試とす る。再試においては80点以上を合格とし評価はCとなる。				
教 材 講師資料				
授業計画 毎週水曜日 1限目 9:10～10:40				
回	授業内容			
1	犬猫の本能・ルーツ	犬猫の生態の違い		
2	犬種ごとの特性①	犬種ごとの性格、習性の違いを学ぶ		
3	犬種ごとの特性②	、		
4	ボディランゲージ	表情、尻尾などで犬の心理を学ぶ		
5	カーミングシグナル	カーミングシグナルを学び日常で活かす		
6	犬の五感	視覚、聴覚、味覚、嗅覚 など		
7	生まれてから老犬になるまで①	成長過程において何が大事かを学ぶ		
8	生まれてから老犬になるまで②	、		
9	生まれてから老犬になるまで③	、		
10	訓練としつけの違い	家庭犬、使役犬の違い		
11	褒め方、叱り方、遊び方	いい褒め方、叱り方、遊び方について		
12	問題行動①	吠えぐせ、かみぐせ		
13	問題行動②	飛びつき、分離不安、引っ張り		
14	問題行動③	排泄の失敗、車嫌い、拾い食い		